

<資 料>

和牛産肉能力検定（直接法：平成 27 年度）

片岡博行

Individual Performance Test of Sire in Japanese Black Cattle

Hiroyuki KATAOKA

要 約

候補種雄牛を雄子牛から選抜するため、公益社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定(直接法)を実施した。

- 1 平成 27 年度には 8 頭の直接検定を実施し、全て終了した。
- 2 検定終了牛の平均 DG は、1.12kg、平均審査得点は 82.81 点であった。
- 3 検定成績、血統、体型等を総合的に評価した結果、「百合高」を候補種雄牛として選抜した。

キーワード：和牛、黒毛和種、種雄牛、産肉能力検定（直接法）、増体量

緒 言

優良種雄牛を作出するため、県内優良雌牛から生産された産肉性及び種畜性が期待される雄子牛について、増体性、飼料効率及び種畜性を判定するため、和牛種雄牛産肉能力検定(直接法)を実施した。

肉用牛広域後代検定推進事業により認定された産肉能力育種価の高い繁殖雌牛から生産された雄子牛について産子調査を実施し、発育状況等の優れたものを検定対象牛として選抜した。

平成 27 年度検定実施の検定牛は表 1 に示したとおりで、父牛別にみると、「第 1 花国」の産子が 3 頭、「沢茂勝」の産子が 2 頭、「北盛栄」、「新初英」、「百合茂」の産子が各 1 頭の計 8 頭であった。また、表 2 にそれぞれの検定牛の産肉形質に係る期待育種価を示した。

材料及び方法

1 検定種雄牛

表1 検定牛の概要

セットNo.	名 号	生年月日	登録番号	血 統			産地	検定期間
				父	母	母の父		
H26-3-1	珠沢	H26.05.01	2014子受卵岡黒545	沢茂勝	第45たま8	北国7の8	美咲町	H26.12.24 ~ H27.04.15
H26-3-2	沢花勝	H26.04.21	2014子岡黒5443	沢茂勝	ふくひめ9の3	花茂勝2	美咲町	
H27-1-1	天津盛栄	H26.09.17	2014子受卵岡黒1507	北盛栄	ただあまつ	勝忠平	真庭市	H27.04.22 ~ H27.08.12
H27-1-2	恵新英	H26.09.12	2014子受卵岡黒1693	新初英	ちえこ59	平茂勝	真庭市	
H27-2-1	千谷之国	H26.11.23	2014子受卵岡黒1993	第1花国	28せんだに7	美津福	美咲町	H27.07.01 ~ H27.10.21
H27-2-2	百合高	H26.11.08	2014子岡黒4686	百合茂	たかみず80の3	第1花国	津山市	
H27-3-1	晴乃国	H27.04.15	2015子岡黒4223	第1花国	たかみず81の1	北国7の8	津山市	H27.11.10 ~ H28.03.01
H27-3-2	葵花国2	H27.03.04	2015子受卵岡黒5210	第1花国	てっこう1643	沢茂勝	新見市	

表2 検定牛の産肉能力期待育種価 (kg,cm<sup>2</sup>,cm,脂肪交雑基準値)

セットNo.	名 号	期 待 育 種 価			
		枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	脂肪交雑
H26-3-1	珠沢	44.117 (B2)	11.885 (A2)	0.562 (B2)	1.778 (A1)
H26-3-2	沢花勝	36.804 (C)	8.701 (B2)	0.728 (B1)	1.418 (A3)
H27-1-1	天津盛栄	37.148 (C)	8.769 (B2)	1.259 (3%)	1.960 (5%)
H27-1-2	恵新英	99.730 (5%)	10.491 (A3)	0.944 (A2)	1.315 (B2)
H27-2-1	千谷之国	44.876 (B2)	7.028 (C)	0.631 (B2)	1.799 (5%)
H27-2-2	百合高	89.124 (5%)	15.929 (5%)	1.131 (A1)	2.100 (1%)
H27-3-1	晴乃国	85.617 (A1)	15.001 (3%)	1.172 (5%)	2.400 (1%)
H27-3-2	葵花国2	68.646 (A2)	13.657 (A1)	0.839 (A3)	2.136 (1%)

( )内は、下記のランクを示す。

(1%):上位1%以上、 (3%):3%以上1%未満、 (5%):5%以上3%未満

(A1):10%以上5%未満、 (A2):15%以上10%未満、 (A3):25%以上15%未満

(B1):1/3以上25%未満、 (B2):平均以上1/3%未満、 (C):平均未満

なお、育種価は第41回育種価（H27.4.1公表）による。

## 2 検定方法

公益社団法人全国和牛登録協会の定める和牛種雄牛産肉能力検定法(直接検定)<sup>1)</sup>に従い、次のとおり実施した。

(1) 検定開始月齢：6～7カ月齢

(2) 検定期間：112日間

(3) 検定飼料及び給与方法

濃厚飼料：直接検定用飼料を

体重比 1.0～1.3%制限給与  
(DCP 12.5% TDN 70.5%)

粗飼料：チモシー乾草を飽食

## 3 調査項目

1日当たり平均増体量(DG)、365日齢補正体重、飼料摂取量、体重(2週間毎)、各部位測尺(4週間毎)、終了時審査得点

### 検定成績

平成27年度に検定が終了した8頭について、検定成績を表3に示した。

#### 1 増体量

DGは、最も高かったのは「百合高」1.38kg、最低は「珠沢」の0.88kg、平均は1.12kgであった。

また、365日齢補正体重は、最高544.8kg「百合高」、最低380.1kg「珠沢」であり、平均444.24kgであった。

#### 2 飼料摂取量及び粗飼料摂取率

飼料摂取量のうち、蛋白質関連はCPで表示され、最高141kg「百合高」、最低100kg「珠沢」であり、平均113.0kgであった。また、飼料摂取量の内TDNは、最高715kg「百合高」最低527kg「珠沢」であり、平均589.75kgであった。

また、粗飼料摂取率は、最高が53%、最低が48%であり、平均は50.13%であった。

#### 3 終了時の発育及び審査得点

体高の最高は129.0cmの「百合高」で、最低は「珠沢」、「千谷之国」、「葵花国2」の123.0cmであり、平均は124.73cmであった。公益社団法人全国和牛登録協会の定める和牛発育標準(雄)に基づく発育判定では「5-(4)」が1頭、4-(5)」が5頭、「3-(5)」が2頭であり、良好な成績であった。

また、審査得点は、最高が「百合高」の83.9点で、最低81.3点が「天津盛栄」であり、平均は82.81点であった。

#### 4 候補種雄牛の選抜

平成27年5月19日及び10月27日開催の岡山県和牛改良委員会において、直接検定成績、血統及び体型等の結果を総合的に検討した結果、「百合高」を候補種雄牛として選抜した。

表3 検定成績結果

(kg,%cm,点)

セットNo.	名号	1日平均 増体量	365日 補正体重	飼料摂取量		粗飼料 摂取率	発育			審査得点
				CP	TDN		体高	( $\sigma$ 値)	発育判定	
H26-3-1	珠沢	0.88	380.1	100	527	50	123.0	0.0 $\sigma$	3-(5)	81.8
H26-3-2	沢花勝	1.31	479.9	126	660	50	125.6	0.6 $\sigma$	4-(5)	83.3
セット平均		1.10	430.0	113.0	593.5	50.0	124.3	0.30 $\sigma$		82.55
H27-1-1	天津盛栄	1.03	420.1	101	533	50	124.2	0.9 $\sigma$	4-(5)	81.3
H27-1-2	恵新英	1.21	460.5	115	615	53	124.8	1.0 $\sigma$	4-(5)	83.8
セット平均		1.12	440.3	108.0	574.0	51.5	124.5	0.95 $\sigma$		82.55
H27-2-1	千谷之国	1.12	448.0	111	561	48	123.0	0.5 $\sigma$	4-(5)	82.6
H27-2-2	百合高	1.38	544.8	141	715	49	129.0	1.9 $\sigma$	5-(4)	83.9
セット平均		1.25	496.4	126.0	638.0	48.5	126.0	1.20 $\sigma$		83.25
H27-3-1	晴乃国	0.94	413.4	101	531	50	125.2	1.4 $\sigma$	4-(5)	83.2
H27-3-2	葵花国2	1.06	407.1	109	576	51	123.0	-0.2 $\sigma$	3-(5)	82.6
セット平均		1.06	407.1	109.0	576.0	51.0	123.0	-0.20 $\sigma$		82.60
H27年度終了牛平均		1.12	444.24	113.00	589.75	50.13	124.73	0.76		82.81

## 参考文献

- 1) 和牛登録事務必携(平成25年度版).  
(公社)全国和牛登録協会編. 176-178